

情報連絡員報告総括表(平成28年6月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	3			4		1	3			4		1	2	1		3	1		4			4			3	1
	繊維工業	1	1	1		3			3			3			2	1		3			2	1	1	2			2	1
	木材・木製品			1		1			1			1				1		1				1		1				1
	紙・紙加工品			2		2			1	1		1	1		1	1		2		1	1			2			2	
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品		1	2		3			3			3			3			3			2	1		3			3	
	鉄鋼・金属			1			1		1			1				1		1				1		1				1
	一般機器		3		1	2			2	1		3			2	1		3			3		1	2			2	1
	電気機器			1		1				1					1				1			1		1				1
	輸送機器	1				1			1			1			1			1			1			1				1
その他																												
小計	3	9	8	1	18	1	1	16	3		17	3	1	12	7		18	2	1	14	5	2	18			13	7	
非製造業	卸売業	1		1	2			1	1		2			1	1		1	1					2			1	1	
	小売業	1	2	3	1	4	1	5	1		1	2	3	1	1	4		3	3				5	1	1	2	3	
	商店街		1				1				1				1			1					1			1		
	サービス業		1	4					5			4	1			5		3	2				4	1		2	3	
	建設業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1				3	1		3	1	
	運輸業		1						1			1			1			1					1			1		
	その他		1							1		1				1		1					1			1		
小計	2	8	10	3	4	2	5	12	3	1	14	5	1	7	12		13	7				17	3	1	11	8		
合計	5	17	18	4	22	3	6	28	6	1	31	8	2	19	19		31	9	1	14	5	2	35	3	1	24	15	

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年6月～平成28年6月)

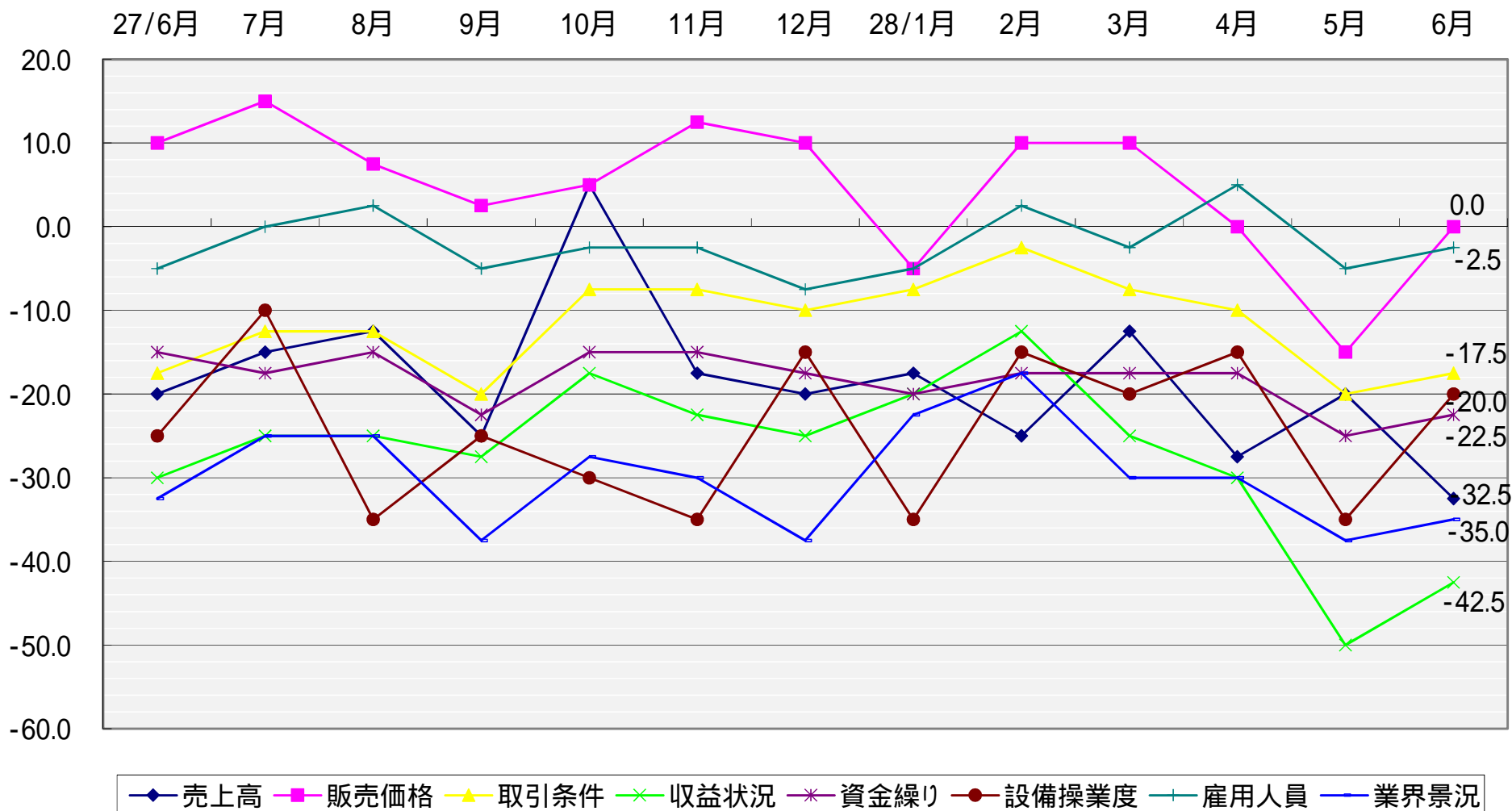
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	27/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
売上高	-20.0	-15.0	-12.5	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.5	-20.0	-32.5	-12.5
販売価格	10.0	15.0	7.5	2.5	5.0	12.5	10.0	-5.0	10.0	10.0	0.0	-15.0	0.0	15.0
取引条件	-17.5	-12.5	-12.5	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	2.5
収益状況	-30.0	-25.0	-25.0	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	7.5
資金繰り	-15.0	-17.5	-15.0	-22.5	-15.0	-15.0	-17.5	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	2.5
設備操業度	-25.0	-10.0	-35.0	-25.0	-30.0	-35.0	-15.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	15.0
雇用人員	-5.0	0.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	2.5
業界景況	-32.5	-25.0	-25.0	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年6月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	漬物全体の半数以上を占める浅漬類とキムチ類が順調に推移している。ただ、消費者ニーズに対応する季節限定製品や特産野菜を取り入れたきめ細やかなこだわりの商品や付加価値のある製品作りに各企業とも一層取り組む状況下にある。
		醤油味噌	伊勢志摩サミットも無事終了し、当業界で使用されたのは、醤油一品のみで特に変化もない。日本酒は、一部、料理店にも出回っているようである。高速道路もサミット前後は、交通量が少なかったようだが、通常に戻っている様子である。サミット不景気と言われているため、今後に期待したいところである。組合員の廃業による脱退が1社あり、39組合員となった。
		豆腐	豆腐の原材料である大豆は、国産輸入ともに昨年と比べ安値である。
		製麺	伊勢志摩サミットも無事終了した。やはり、今三重県は大きく注目を集めている。今後も、組合を挙げて取り組んでいく。6月には、北海道イオンにてテレビでも取り上げてもらい、伊勢うどんを知ってもらう機会を作っていただき感謝している。
	繊維工業	衣料縫製	縫製業界もある程度、廃業・倒産も落ち着き、各社、特色のある企業が存続している状態である。よくも悪くもなく、存続している感じがある。
		テントシート	高齢化による廃業があり、後継者不足が深刻である。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	大手が中心に製造する飲料関係の段ボールケースは、猛暑を予想し、生産は増加。県内の関係は、自動車関連の出荷も少なく、刺激にならない。各社により、生産量にバラつきが出た。
		古紙	6月の仕入量は、前年比で段ボール：約97±4%位、新聞・チラシ：約92±4%位、雑誌・雑紙・その他合わせて：約95±6%位の中での推移である。前年が悪い状況でやっと前年並みになる組合員があり、前年同月比は底打ち感がある。現在、古紙は、幾通りかの出荷方法により、流通しており、従来の出荷方法だけでは入荷は激減。組合員で前年並みの出荷ができているところは、取引先を増やせた組合員であり、仕事の取り合いがある。集荷形態や古紙以外の業務をしているかによって、集荷量や収益に格段の格差がある。イギリスのEU脱退が為替を円高にし、輸出古紙の価格は値下がり傾向である。集荷量が激減する中でも、製紙会社は古紙在庫の荷余り感もあり、古紙業界には難しい努力が必要か。愛知県内で、持去り古紙の取締をしていた方が車に引きずられる事件が発生した。加害者は比較的軽い刑となるとのこと。古紙の持去りや万引き等も何度も繰り返す者は、悪質な犯罪者として罰を与えるべきである。また、盗品等を繰り返し取り扱う商人は、商法で取り締まるべきである。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館では、入館者、売上とも昨年と比べ、減少しているが、伊賀・信楽古陶館では、入館者は、昨年を上回り、売上も昨年並であった。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界全体の生産量としては、5月と同様減少した。三重県でも5月と比べ減少傾向にあり、扱う商品によって増減があるが、全般的に少し落ち込み気味であった。半導体関連は、5月は中休みといった傾向だったが、6月に入り増加しはじめ、7月以降もまだまだ増加するという情報があり、8月も同様の動きになりそうである。
	一般機器	四日市	英国のEU離脱等、世界の経済情勢は混迷している。日本経済も2か月連続で下降傾向にあり、中小企業は自主廃業するところが増加してきている。経済振興の立て直しが望まれる。
	電気機器	鳥羽	リーマンショック程ではないが、受発注共に非常に悪く例年比としても30～40%減である。まだ、状況が好転する様子もない。
	輸送機器	鈴鹿	昨年、この時期の仕事量が非常に低調であったため、そのときと比べるとましではあるが、新年度以降は、依然として全体的には低調なままである。当組合以外の近隣の同業者では、部分的に休業し、雇用調整助成金を利用している企業もあるような状況である。
非製造業	小売業	青果	野菜：前半は4、5月の天候不順でトマト、胡瓜の入荷が不安定。キャベツも雨が少ない為高値。ニンジン、玉葱、ジャガイモも例年より高い。レタス、ホーレン草は、安定。後半は地域によって天候が違い、長野産のレタスはお値打ち。群馬産のキャベツも順調。ニンジン、大根は少ない。果物：山形産サクランボが豊作で安い。愛知産メロンもお値打ち。西瓜は愛知産がピーク。後半は、サクランボが最盛期、価格も期待できそう。デラウェアは、鳥根が不作で高値。桃は早生の品種が例年より早い。蒲郡産ハウスみかんが入荷し、味はよく、価格は例年並み。

非製造業	小売業	自転車	自転車単価の高騰及び梅雨の季節と重なり、商品の動きが全くない。軽快車市場が縮小し、中古車を求めるユーザーが増加したと同時に、インターネット販売の増加等で小売業界は一層厳しいものとなっており、景気回復には程遠く感じられる。そんな中、スポーツ車の需要台数は、多少の伸びを示した。これは、メーカー直営のショップやスポーツ車専門店によるもので、全国各地に於いて数多く開催されたイベント等が普及の追い風となっている。
		家電	6月4日に東海地区が梅雨入りをし、気温の上昇と共に蒸し暑い日々が続く、夏物商品を中心に需要が好転してきている。特に、エアコン・扇風機・冷蔵庫・洗濯機等は、前年比2桁成長してきており、この時期の牽引役である。家電業界では、6月後半より夏の個展が始まり、夏商戦の本番を迎える。また、8月5日より、リオ・オリンピックが開幕予定であり、4Kテレビの需要も大きな期待をしている。
		石油	6月の燃料油販売数量は、原油価格の影響により、石油製品の値上げのため、前年比94%前後の減販であった。さらに、6月の後半にかけて天候不順により、洗車、油外商品販売も低迷した。地域においては、販売数量の減販しているところもあり、収益面も厳しい状況で推移している。今後の原油市況動向については、イギリスのEU離脱において、急激な円高ドル安になったが、現在中東原油も45ドル台につけており、円相場も103円前後に戻った。今後の動向としては、原油高への可能性が高く、値下げが続くと思われる。
		スポーツ用品	夏の甲子園が近づいてきた。我々組合員はそれぞれが取引している高校の用具の点検、不足している用品の補充等忙しくしている。ただ、野球をする生徒数の減少が響き、売上が減少している。
	商店街	熊野	今月の朝市イベントは、梅雨の合間での開催であったが、近隣イベントと重なったため、若干集客に鈍りがあった。今後は、この時期の集客方法が課題かと感じる。また、当日は、三重テレビの取材があり、各出店店舗の紹介や新商品などの紹介も行われた。
	サービス業	旅館	伊勢志摩サミットの風評被害等により、約半年間売上が落ち込んでいた。観光客が「サミットも無事成功に終わり、伊勢志摩にはサミットが終わってから行こう」と言った声もよく聞いていたため、今月よりV字回復することを期待していたが、参議院選挙も影響したのか、会場のホテル、伊勢神宮周辺以外は対前年比10%～20%程悪化した。夏休みの予約の発生も遅れている。
		警備	サミット終了後の受注減少と雨天のため、仕事量の減少が目立った。
	建設業	内装工事業	6月も売上高等前回と同じ流れのため、対前年同月比は減少となった。若干、下降傾向の流れは緩やかになってきてはいるが、建設業界の動向はあまり良くないので、今後、このような状況が続く可能性が高いと思われる。
		水道工事業（四日市）	今月に関しては、特に大きな変化は見られなかった。梅雨の時期ということもあり、外部での工事において多少雨の影響を受けて、工事が遅れるということがあった。
	運輸業	トラック	国内景気に停滞感を感じる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	これからも組合活動を通して、お客様に喜んでいただける伊勢うどんを作るにあたり、品質面、衛生面を強化していきたい。
繊維工業	衣料縫製	JITCOの書式が新しくなっても、番号等が同じで解り難い。
一般機器	四日市	政府の無策、アベノミクスの失敗やサミット効果も期待薄である。
	伊勢	株式市場や為替相場が大きく変動しており、先行きの不透明感が増してきている。特に円高が企業の業績、決算等に与える影響は大きいので、為替のリスクヘッジをする基本的な手法等をアドバイスいただきたい。
小売業	スポーツ用品	先日の会議の時、官公需の会議の中で、少額随意契約の少額の金額を教えていただいた。スポーツ用品の商売の中で、ほとんどの学校の発注がその金額以下である。
サービス業	旅館	サミット効果は、現時点では期待はずれである。知名度UPにより、インバウンドの団体、個人共に少しは明るい兆しも見えるものの、直近の夏休み対策と中・長期的にもサミットの効果を最大限活用した対策に早急にと取り組む必要がある。
運輸業	トラック	内需拡大施策を求む。